

令和6年度施工

単 公

工 事 名 やすらぎプラザイベントデッキ屋根撤去工事 実 施 設 計 書

【 週休2日促進工事 】

(見積用参考資料)

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

北海道茅部郡森町

設 計 一 覧 表

工 事 名	工 事 箇 所	工 事 内 容
やすらぎプラザイベントデッキ屋根撤去工事	字砂原2-358-1	既設デッキ部分撤去(81.3m ² (デッキ+スロープ部分面積))の上、外壁等改修及び芝張り

工 事 費 内 訳

工 事 費	
工 事 価 格	
消費税等相当額	

細 目 内 訳 書

名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
A	撤去工事					
	直接工事費					
	経費対象外額					共通仮設費対象額
	共通仮設費	式	1.0			経費率:
	共通仮設積上分	式	1.0			
	純工事費					現場管理費対象額
	現場管理費	式	1.0			経費率:
	工事原価(A)					
B	改修工事					
	直接工事費					共通仮設費対象額
	共通仮設費	式	1.0			経費率:
	純工事費					現場管理費対象額
	現場管理費	式	1.0			経費率:
	工事原価(B)					
						一般管理費対象額
C	一般管理費(C)	A撤去+B改修の工事原価の合計額より計上(経費対象外額は控除)		式	1.0	経費率:
	工事価格	(A)+(B)+(C)				
	消費税相当額	10%				
	工 事 費					

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	直接工事費						
A	撤去工事						
A-1	直接仮設工事		式	1.0			
A-2	撤去工事		式	1.0			
A-3	撤去材運搬費		式	1.0			
A-4	撤去材処分費	※経費対象外	式	1.0			
	撤去工事 計						
B	改修工事						
B-1	直接仮設工事		式	1.0			
B-2	改修工事		式	1.0			
	改修工事 計						
	直接工事費 合計						

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
A-2	撤去工事						
	既設屋根材撤去	ルーフィング(みなしアスベスト含有材)撤去共	m2	122.4			
	笠木・見切り類撤去	鉄板包み(笠木(上下)、サツ取合水切)	m	81.6			
	外壁	防火サイディング(みなしアスベスト含有)	m2	37.8			
	軒天	防火サイディング(みなしアスベスト含有)	m2	86.9			
	床材	下地共(樹脂系デッキ+下地鋼製)	m2	83.0			
	小屋裏換気口(軒天)	150φ	カ所	10.0			
	庇サイン	アクリル板(16文字)	式	1.0			
	トップライト	1.6 * 1.6 * H1.6、硝子(FL3+A6+PW6.8)共	カ所	1.0			
	木造小屋組(スロープ部含)	柱・手すり、軽量梁共 対象面積計上	m2	106.0			
	有筋コンクリート取壊し	基礎、土間等(鉄筋切断、集積共)	m3	25.5			
	同上部 カッター入れ	建物取合い部計上	m	15.0			
	スロープ前アスファルト舗装	既設t30+t40	m2	5.3			
	同上部 カッター入れ		m	8.5			
	コンクリート縁石(北側 芝生見切)	120 * 120 * 600程度	m	12.0			
	コンクリート縁石	150 * 150~170 * 600	m	2.4			
	インターロッキング撤去	デッキ柱 干渉部分	m2	2.7			
	小 計						

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
A-3	撤去材運搬費						
	とりこわし発生材運搬 無筋コンクリート	機械込 ダンプトラック 10t DID区間なし 19.5km以下	m3	0.2			
	とりこわし発生材運搬 鉄筋コンクリート	機械込 ダンプトラック 10t DID区間なし 19.5km以下	m3	25.5			
	とりこわし発生材運搬 仕上材・材料類	仕上材:板金・ガラス・陶磁器・プラ・ボード等 機械積込 ダンプトラック10t DID区間なし 11.5km以下	m3	7.6			
	とりこわし発生材運搬 木材類	構造材・木材類 機械積込 ダンプトラック 10t DID区間なし 11.5km以下	m3	22.1			
	とりこわし発生材運搬 仕上材・材料類	フレキ・ルーフィング等: アスベスト含有材 人力積込 ダンプトラック 2t DID区間なし 120km以下	m3	2.1			
	撤去材運搬費 計						
A-4	撤去材処分費						
	無筋コンクリート		t	0.5			
	鉄筋コンクリート	基礎コンクリート、コンクリートブロック等	t	61.2			
	木くず	構造材他 木材類	t	8.9			
	アスファルト類		t	0.4			
	硝子くず		t	0.2			
	プラスチック(硬質プラ)	デッキ床材他	t	0.6			
	金属くず	鋼製軽量梁	t	1.0			
	金属くず	板金・サッシ等	t	0.1			
	混合廃棄物	アスベスト含有材(レベル3)	t	1.9			
	蛍光灯		kg	19.0			
	循環税相当額		t	3.8			
	撤去材処分費 計						

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
B-2	改修工事						
	外壁改修						
	外壁撤去(既設ガルバニウム)	デッキ取合部	m2	22.7			
	同上 外壁改修	GL鋼板 t0.04	m2	22.7			
	同上 透湿防水シート		m2	22.7			
	土台水切り納め		m	4.9			
	上部見切り納め		m	4.9			
	外壁見切り材		m	11.6			
	角部 コーナー納め金物材		m	11.6			
	サッシ見切納め		m	17.2			
	同上 面戸納め		m	17.2			
	木梁切断部 補修	GI鋼板(120*360:3か所、120*120:1か所)	力所	4.0			
	コーキング処理	MS-2 25*10(各所見切、サッシ廻り等)	m	67.4			
	正面底部改修	側面GL鋼板、笠木上下改修納め共	式	1.0			
	基礎面取合い補修	建物取合い部計上 H300程度	m2	3.6			
	正面庇外壁 塗装(下地調整)	下地調整 工程RB程度 成形セメント板面計上	m2	30.4			
	同上 素地調整	工程B種程度 成形セメント板面参考	m2	30.4			
	同上 耐候性塗料塗り	耐候性塗料 2回塗り	m2	30.4			
	小 計						

細 目 内 訳 書

名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
正面庇 下笠木 塗装(下地調整)	RB程度 亜鉛メッキ鋼面	m2	6.1			
同上 錆止め塗料塗り	工程B種程度 亜鉛メッキ面参考	m2	6.1			
同上 耐候性塗料塗り	2回塗り	m2	6.1			
スロープ部跡						
化粧砂利敷	t60程度	m2	16.6			
アスファルト舗装(復旧)	t30細粒度アスコン・タックコート t40粗粒度アスコン・プライムコート 路盤補修共	m2	5.3			
デッキ部跡						
芝張り	ベタ張り くし共	m2	85.2			
コンクリート縁石	150 * 150 ~ 170 * 600、切下げ用2本含	m	14.4			
底正面 サイン	ステンレス箱文字程度 8文字 400角	力所	1.0			
正面庇 照明新設	配線共(Pana LED電球ポーチライト 防湿・防雨型 HH-SL0010L同等程度)	基	2.0			
小 計						
改修工事 計						

森町管内図

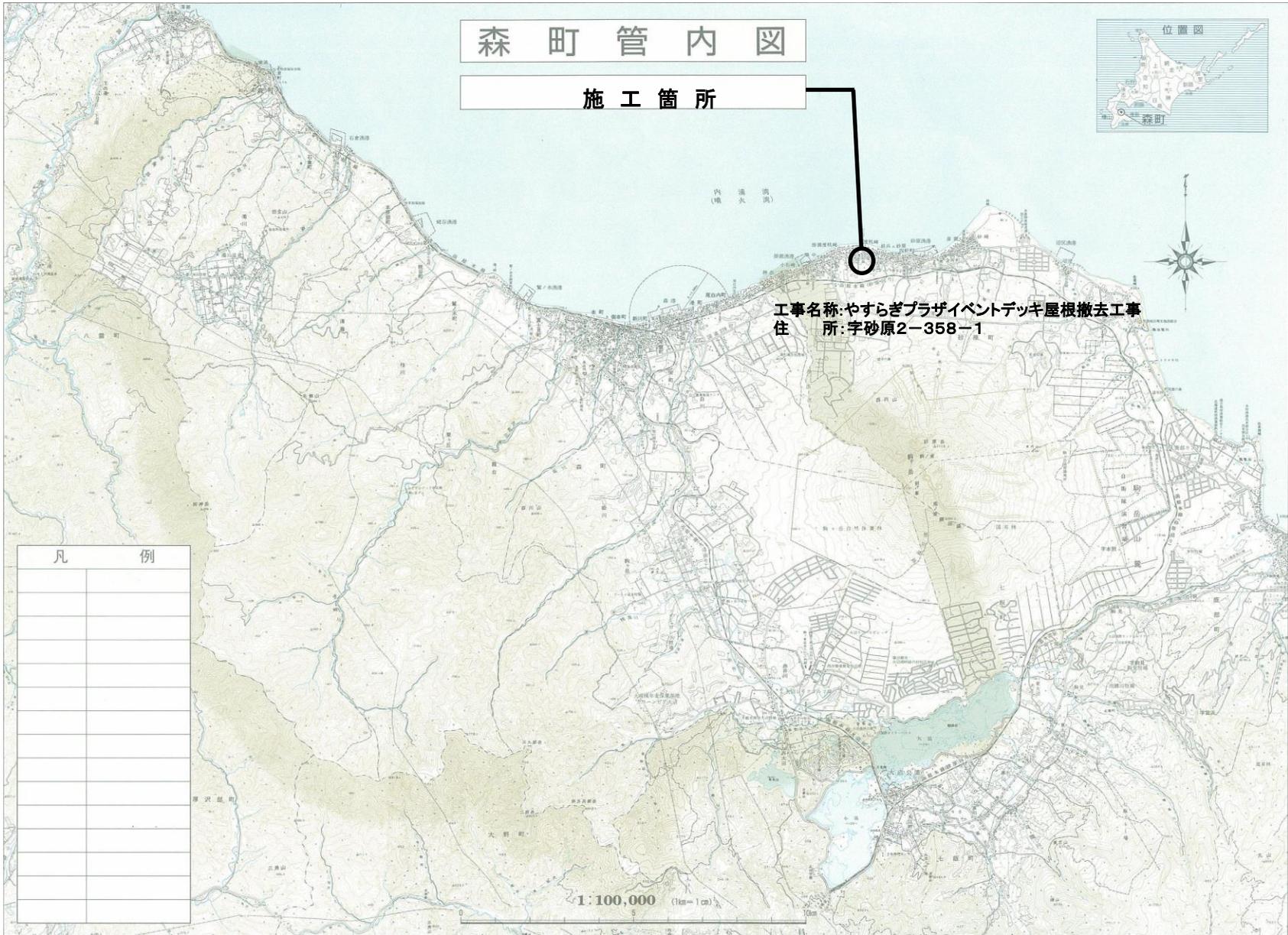
施工箇所



工事名称: やすらぎプライベートデッキ屋根撤去工事
住所: 宇砂原2-358-1

凡	例

1:100,000 (1cm=1km)



【 特記仕様書 1 】

1. 共通仕様書

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築（及び建築改修）工事標準仕様書、建築（及び建築改修）工事監理指針（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）、建築物解体工事共通仕様書（いずれも最新版とする）により施工すること。

2. 設計書 質疑について

記載内容について質疑のないものは、当設計書を理解したものといたします。

3. 請負者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）により、適正に処理するとともに産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、適正に管理するとともに、工事完成後提出すること。

4. 廃棄物の処理（設計受入先、廃棄物の種類）

設計受入先：渡島管内産業廃棄物処理場

廃棄物の種類：木くず(廃材・抜根)、コンクリート、金属くず、石膏ボード、プラスチック廃、硝子・陶磁器くず、紙くず、繊維くず、混合廃棄物。

5. 建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）を提出すること。

クレダス廃止に伴う新様式。国土交通省より様式をダウンロードして記入ください。

6. 作業時間等については、監督員と適宜調整をお願いします。また、作業が土日

祝祭日にまたがる場合は、事前に「土日祝祭日工事施工届」を提出ください。

7. 本工事の実施に当たっては、交通事故及び労働災害の防止に努めること。

8. 本工事の工事完成図書は電子納品（CD-R等にPDF等）対象工事とする。

9. その他不明な点が生じた場合は、速やかに監督員と協議を行い解決し工事を円滑に行うよう努めること。

10. その他事項

- ・工事着工前に担当課・監督員と日程や作業員駐車場・材料置場・資材搬入経路等の協議を行うこと。
- ・本工事の振動等による周辺建物への被害等のトラブルを避けるため、事前簡易調査は含むものとする。周辺住宅への被害があった場合は、施工の責任において対応するものとする。

【 特記仕様書 2 】 提出書類確認一覧表

工 事 名 : **やすらぎプラザイベントデッキ屋根撤去工事**

仕様書・積算基準等を踏まえた上で、この工事の完成にあたって請負者が提出すべき書類等の一般的な体系は、参考までに次に示すところとする。

分 類 : ①：契約図書、②：竣工図書(着工前確認)、③：竣工図書

分類	書類名	提出期限他	提出先	数量	対象工事	備考
契約後	① 工事着手届	契約後、速やかに	契約管理課	2		
	工事工程表	契約後、14日以内		2		労働基準監督署の押印必要
	現場代理人等指定通知書	契約後、速やかに		2		
	同上 経歴書	契約後、速やかに		2		
	労働者災害補償保険料報告書提出済の証	契約後、速やかに		2		一部原本+1部写し
	建設業退職金共済掛金収納書等届	契約後、速やかに		2		
	工事実績情報の登録(CORINS)登録内容確認書(受注・竣工各提出)	契約後、10日以内 完了検査後、10日以内		各1	500万以上	変更時は、変更契約締結後、10日以内
	下請選定通知書	契約後、随時		2		注文請書の写し添付
	建設リサイクル報告様式	再資源化完了後、速やかに		1		建設リサイクル法対象工事 再資源利用計画、実施を添付
着手前	② 施工計画書		監督員	1		
	施工体制台帳	随時		1		契約金額にかかわらず、下請業者を入れる場合は全て必要
	材料承認願い	随時		1		
	実施工程表			1		計画：黒、実施：赤 等で識別
	建設リサイクル報告様式(計画書)			1	100万以上	竣工図書にFD、又はCDも提出
工事完了前	③ 工事打合せ協議簿		監督員	1		
	実施工程表			1		計画：黒、実施：赤 等で識別
	工事週報(予定・実施)			1		作成工期は、完成通知届日まで
	土日祭日作業届	随時		1		
	工程写真、各種写真			1		【重】写真には黒板を入れること。 竣工図書にFD、又はCDも提出
	・仮設状況(工事看板、仮囲い、足場等)					
	・着手前、竣工後					
	・納入材料状況・使用機械					
	・各種材料写真					
	・各種工程写真(工種別)					
	・廃棄物(積降状況)					
	材料品質証明書			1		
	出荷証明書			1		
	搬入材料検査簿			1		一覧表添付のこと
	納品伝票			1		
	各種試験成績書			1		
	社内、監理者、監督員検査の記録簿、写真			1		社内検査は現場、及び書類
	安全管理記録簿、写真	※安全協議会/月実施		1		写真はFD、又はCDも提出
	緊急連絡網(関係各課、全下請け業者)			1		
	下請け選定、請書の写し			1		
産業廃棄物処理関係綴り	一覧表又はマニフェスト写し	1		マニフェストはA・B2・D・E		
建設リサイクル報告様式(実施書)		1	100万以上	竣工図書にFD、又はCDも提出		
完成図面		1		設計数量と使用数量を明記、施工範囲には色付け		
各種保証書		1		保証期間は完了検査日から		
完成書類データ		1		書類一式のPDFデータを提出		
完了後	① 工事完成通知書		監督員経由	1		
	完成写真(着手前・完成後)			1		

【取扱留意事項】

- この工事では、原則「提出ランク」により適用する。但し、これらの加編、一部削除、又は編成替えを生じる場合がある。
- この工事では、あくまでも支障なく工事進捗した場合による最低限の提出の指標であって、契約図書及び関係諸法令で定める管理義務又は、作成保管が決して不履行されないよう十分留意すると共に、事故、疑義、若しくは必要のある時は、別途、提出等が課せられるものとする。

【 特記仕様書 3 】 週休2日促進工事の実施について

1. 目的

本実施要領は、営繕工事における週休2日の取組において労務費の補正等の試行を行うために必要な事項を定め、もって週休2日を促進することを目的とする。

2. 週休2日の要領を下記に示す

(1) 週休2日

- ① 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- ② 通期の週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。

(2) 対象期間

工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

(3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。

(4) 現場休息

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

(5) 4週8休以上

① 月単位の4週8休以上とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。なお、現場閉所日（現場休息日）を原則として土曜日・日曜日としない場合においては、上記の「土曜日・日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。

② 通期の4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお現場休息率の算出において、現場休息日数には現場閉所日数を含む。また、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

3. 週休2日を実施出来なかった場合の対応

月単位の4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日以上）以上）を前提に補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、通期の4週8休に満たない場合は補正係数を除し、請負金額のうち労務費補正分を**減額変更**するものとする。